



▲にぎわう「たきざわ朝市・夏の陣」スイカ祭

## Q スイカ祭、次の企画は

## A りんご祭で今後を展望

### Q1

8月12日に開催された「第1回たきざわ朝市・夏の陣スイカ祭」の実施状況と今後どのような計画や運営方法を考えているのかを伺います。

### A1

生産農家17戸と菓子製造者3店、特産岩魚振興会に出店していただき、スイカや花



高橋 盛佳 議員（新志会）

をはじめ、ほうれん草、ピーマン、人参などの夏野菜、また今年特産として開発したスイカ饅頭、スイカゼリーや惣菜、岩魚の塩焼きを販売しました。初めての開催にもかかわらず、朝早くから、約3,000人も来場者があり、早い時間帯に売り切れてしまいました。

出展者へのアンケート調査では、「出店して良かった」「次回も参加したい」との回答をいただいているので、出店者の意向を踏まえ、りんごが出荷される秋にも開催したいと考えており、早い時期に生産組織、農家及び地域産品出店者等と協議します。来年度はりんご祭を見て、検討し展望します。

### 村長とのお気軽トークは

### Q2

7月から実施されている「村長とのお気軽トーク」の実施状況や開催してみたい発見したこと、成果などはどうか伺います。

### A2

7月は3団体48人、8月は6団体85人と、2カ月で9団体133人となっています。

従来のように、行政にすべてをやってもらおうのではなく、行政・役場でも何らかの支援をしてほしいという「参画と協働の精神」が醸成されつつあります。

行く前、緊張していた職員が、住民の皆さんと触れ合い、以前より心が通じ合った喜びや親しみを持ち、帰りにはにこにこしてたとでした。

今後も、時間の許す限り、各地に出掛けたり、村長室に来ていただいて皆さんの率直なお声をお聞きしたいと思います。

## Q 中小農家の支援対策は

## A 集落営農組織を通じて



桜井 博義 議員

### Q1

品目横断的経営安定対策は経営規模の大小で農家を選別する農業版リストラ政策と言われています。

- ①この制度の評価と支援対象から除かれた中小農家の支援対策は。
- ②本村の基幹作物は米と牛乳です。しかし、現状は消費の伸び悩み等で生産は下降ぎみで、現場の実態をどう政策に反映するのか。
- ③遊休農地の実態と今後の取り組みは。
- ④農業後継者の育成に對しての考えは。

### A1

①現在の加入状況は40人の個別経営と一農業生産法人となっています。中小農家については、これまでの集落営農組織を通じて集落に合った振興策に努めます。

②米の消費は減少傾向が続くと見えています。一方、加工米、特別栽培米は産地づくり交付金で助成し



▲営農指導にあたる農業経営指導マネージャー

ています。畜産については農協、部会を通じて要望に答えています。

③昭和一桁生まれの方々の引退が本格化する中、農業公社が実施している農地保有合理化事業の活用等で農業の担い手に農用地が集積するよう図ってまいります。耕作放棄地等の防止については農地パトロールの状況を踏み、利用促進に努めます。

### 高齢者の負担能力は限界

④農業経営指導マネージャーの配置等で新規就農も含めた総合的な営農指導に努めます。若者が農業で働ける環境整備に産直施設等の整備に支援を進めます。

### Q2

私達が独自に実施した住民アンケートの結果「生活が苦しい」「税金が増えた」「医療費が増え通院を控える」など厳しい実態が語られ、村には生活に密着した要望が集中している。

①高齢者はこの間の負担増で暮らしが厳しくなっていますが、対応と考える。

②介護保険制度については保険料、利用料の軽減、老人ホームの整備要望が併せて7割に達していますが、考えは。

### A2

①16年からの税制改正で増加していることは否めず、救済は財政面で困難です。

②保険料、利用料は低所得者に配慮した改正を行っています。施設整備は充足していると受けとめています。